

2016年11月18日 (Fri)

第2号

この便りが届いている頃には、既に水農祭も終了している時期でしょうか。こちらは少しずつ寒くはなっていますが、もちろん冬の訪れを感じることはなく、四季を感じない為か 11 月を迎えた実感がないまま日々を過ごしています。クリスマスの準備は 9 月には始まっているし、気候は夏なのにクリスマスキャロルが爆音で流れてくるし、、、たまに心がついていけない。

でも、気にせず明るく前向きな毎日です。

負けずに Japanese style を PR



【 フィリピンでカカオって育つの? 】



わたしは何のために青年海外協力隊の一員としてフィリピンに派遣されているのか? 要望の内容としては「農民の生計向上を目指した、カカオ栽培の普及事業」です。簡単にいうと、“カカオ栽培をフィリピンの山奥で支援してきてください” とのこと。カカオの栽培経験、もちろんゼロです笑。でも、新しい作物に挑戦できるって面白くないですか? 日本ではなかなかカカオ栽培なんて経験できないし。まずは、日々農家さんや職場の同僚から学ぶ毎日です。



カカオツリー、実がなるまで3年…



マタグオブ町 カカオ協同組合の皆さん



豆を発酵させてます

カカオはとてもナイーブなので、様々な条件が整っている地域でのみ栽培が可能な作物です。その環境にマッチしているのが、赤道を挟んで南北 20 度の間にある地域。これを“カカオベルト”と呼んでいます。

日本では某メーカーの「Ghana」チョコレートなんか有名ですね。そのせいか、日本人にとってカカオ=ガーナという方程式ができている人も少なくないはず。しかし、生産量を見てみると1位はコートジボワール、2位がガーナ。そして驚くのが、なんと3位がアフリカでも中南米でもない“インドネシア”なんです。フィリピンに気候も地理も非常に近い! なんか、フィリピンでも栽培できそうな気がしてきましたよね? 実際にはフィリピンでも既にカカオ栽培は広まっていますが、まだまだ可能性はありそうな予感。。



この中にたくさんのカカオ豆

【 これぞ Filipino カルチャ〜 】

フィリピンで早半年近く生活してきていますが、うっそー！まじっ！って思うことは、、、そりゃたくさんありますよ。ここはフィリピンですもの、毎日が文字通りの“異文化交流”です。

その① 女性は髪を濡らしていると、美しい証拠？！！

朝職場に行くと不思議なことが、、、みんな髪が濡れてる！！？日本だったら、朝シャワーして時間なかったのかな？とか思っちゃいますよね。でも、フィリピンでは違うんです。これは「わたし朝シャワーしたから、綺麗よ」ってしるしなんだそう。だから、マダムたちはみんな濡れた髪の毛で通勤してきます。ちなみに、わたしはまだチャレンジしていません。



その② 騒音問題ってないんですか？

フィリピンにはビデオケという、要はカラオケ at home ver.が存在していて、とりあえず歌いまくっています。それも、朝方3・4時まで平気で笑。部屋で寝ていてもご近所さんたちの美声（？）が聞こえてくるので、いい子守歌になります。

【 MacArthur landing day 】

太平洋戦争時「I shall return/ わたしは必ず帰ってくる」と言い残し、1度フィリピンの地を離れた米軍ダグラス・マッカーサーは、1944年10月20日再びフィリピン・レイテ島の地を踏みました。この日が太平洋戦争・レイテ島の戦いの始まりとなるわけです。



実際にマッカーサーが上陸したときの写真



パロの上陸記念公園にあるモニュメント

まさに、そっくり再現されていました！

そのため10月20日は **Landing Day** ということで、レイテ島のみ祝日に。この日は最初の上陸地“パロ”で記念式典が行われ、日米比からたくさんの政府関係や遺族等が参列していました。

終戦から70年が経ち、今年の1月には天皇皇后両陛下が戦後初めてフィリピンを訪れるなど、日比にとって重要な年でもあります。こうやって4国の国旗と一緒に掲揚されていることに、何とも言えない感情に鳥肌が止まりませんでした。

いまという充実した毎日が送れるまでには、多くの先人たちの犠牲や努力があったのだということを、私たちは忘れていけないのだ、と改めて考えさせられた日となりました。

